週間情報

No.2705
発行日　平成27年2月3日
発行所　全国消防長会
　　　　一般財団法人全国消防協会
担　当　企画部企画課　電話 03(3234)1321

両会の動き

◆　平成２７年春の火災予防運動用ポスターの配布

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会では、平成２７年春の火災予防運動用ポスターを作成しました。
各消防本部（局）には、平成２７年１月２８日（水）付けで発送しましたのでご活用下さい。

消防本部の動き

行　　事

◆　年末年始消防特別警戒に伴う防火広報活動を実施

登米（とめ）市消防本部（宮城）

登米市消防本部では、平成２６年１２月１日（月）から平成２７年１月１０日（土）までを年末年始消防特別警戒期間として設定し、その一環として平成２６年１２月２７日（土）に当市内の大型物販店において防火広報活動を実施しました。
年末年始の繁忙期に買い物客で賑わう大型物販店での広報活動を通して、市民の防火意識の更なる向上を図り、火災の発生を未然に防止することを目的として実施しました。
（公財）宮城県消防協会広報課長「みやぎ消太」をはじめ、市長、消防長、消防団長、婦人防火クラブ等が参加し、来店者に防火広報用のリーフレットを配布しながら直接火災予防を呼び掛けました。

【防火広報活動の様子】

◆　名古屋市改善事例発表大会「なごやカップ２０１４」最優秀賞を受賞

名古屋市消防局　（愛知）

名古屋市消防局港消防署では、平成２６年１２月１９日（金）、中区役所ホールで開催された「なごやカップ２０１４」に出場し、当消防署の業務改善事例発表『園児から大人まで幅広い方々に家庭の防災教室・・楽しく自助力向上・・ジィジョ劇団』が最優秀賞に選ばれ、第９回全国都市改善改革実践事例発表会（新潟県三条市平成２７年３月開催）への出場が決定しました。

この「なごやカップ２０１４」は、当市全部局において平成２５年１０月から取り組んだ業務改善４７２事例のなかから、市全職員投票により優秀な１０事例の発表が行われ、名古屋市長他３名の審査委員の評価と聴講者の投票により、特に秀でた改善者（団体）に栄誉が与えられました。

港消防署の業務改善の主な概要は、以下のとおりです。

１　自助力啓発機材「コテイくん」、「たすかるバッグ」、「かべ太郎・次郎」、「どうするパネル」を自主製作し啓発に活用

２　当市消防局「防災・減災」啓発キャラクター「ジィジョ」によるミュージカル「ジィジョくんのふしぎなゆめ」と家具転倒防止広報用オリジナルソング「ありがとう　コテイくん」歌って踊るパフォーマンスダンスを創作し上演

【港消防署による発表の様子】

【表彰の様子】

◆　防火の思いを高校生が「書道パフォーマンス」で表現

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、年末年始の火災予防運動開催中の平成２７年１月５日（月）、滋賀県立草津高等学校書道部の皆さんによる書道パフォーマンスを実施しました。

このイベントは、「今年も家庭、地域、学校等からは火事を起こさない」という防火に対する思いや誓いを、消防音楽隊が演奏するバックドラフトの曲に合わせて書道で表現したもので、書道部の皆さんが巨大半紙へ筆を入れると、次々に繰り広げられるパフォーマンスに消防職員らは釘付けとなりました。

このイベントで完成した作品は、管内の消防出初式の会場で展示するほか、広報誌やポスターとして多くの皆さんの目に触れる広報媒体として活用します。

当消防局、書道部ともに初めての試みとなりましたが、気合い十分のはつらつとした活気あふれるパフォーマンスに、消防職員一同、新たな気持ちで火災予防の取り組みに挑戦し、前へ進むことを誓いました。

【書道パフォーマンスの様子】

◆　消防出初式を開催

尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局では、平成２７年１月１１日（日）、市立中央中学校グラウンドにおいて、新春を飾る消防出初式を開催しました。

稲村市長をはじめとする市関係者や多くの来賓、観客が見守るなか、幼稚園児が乗車したミニ消防車「けしたくん」を先導に、市内のゆるキャラたちとともに約１，６００名の消防関係者が分列行進に参加し、演奏会や防災ダック、市民が参加した訓練展示などが行われました。

演奏会では、大ヒットした映画「アナと雪の女王」の主題歌や、人気アニメ「妖怪ウォッチ」のテーマ曲など、子どもになじみのある楽曲で会場は大盛況でした。各種消防訓練では消防団による小型ポンプ操法が披露され、訪れた観客からは大きな拍手が沸き起こりました。

また、広報・展示物ブースでは、特殊消防車両の展示、救急普及啓発、防火紙芝居、防火衣の試着など、ちびっ子を対象とした体験イベントを実施し、約５００人の来場者で賑わいました。

本田消防局長は、「尼崎消防のフィールドは、常に「地域」にあり、原動力は、「人」にあります。今後も地域に足を運び、これまで以上に、「地域と顔の見える関係」を築いてまいります。」と、決意を新たに訓示をしました。

【分列行進の様子】

【演奏会の様子】

◆　平成２７年岡山市消防出初式を開催 ～Ｊ２ファジアーノ岡山とコラボ～

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、平成２７年１月１１日（日）、当市内の六番川水の公園体育館及び多目的グラウンドにおいて、岡山市消防出初式を開催しました。

屋外行事として、市民参加型の「消防ふれあい広場」を開催し、はしご車体験搭乗、防火衣着装体験、消火器の取り扱い体験、地震体験及び救助隊・消防ヘリコプターによる訓練展示見学を通じて、来場者へ火災予防を啓発するとともに、消防への更なる関心を深めてもらうことができました。

また、Ｊ２ファジアーノ岡山のマスコットキャラクター「ファジ丸」が市民への防火啓発を行い、防火をテーマとしたサッカーアトラクションも実施しました。

【平成２７年岡山市消防出初式の様子】

訓練・演習

◆　集団災害事故対応訓練を実施

沼津市消防本部（静岡）

沼津市消防本部では、平成２６年１２月１６日（火）、静岡県愛鷹広域公園野球場構内道路において、当市消防職員７０名が参加し、集団災害事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、大型バスと普通乗用車の接触事故により多数の傷病者が発生したという想定で、出場部隊の連携による救出救護、迅速なトリアージと救急搬送及び部隊指揮活動を実施しました。

訓練当日は雨天となり、傷病者をスムーズに救護するには細かい配慮が必要となる状況下で実施しましたが、大変有意義な訓練となりました。

今後も実戦的な訓練を継続的に実施し、更なる活動能力の向上と各部隊の連携強化を図ります。

【集団災害事故対応訓練を実施】

◆　合同山岳救助訓練を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、平成２６年１２月１７日（水）、寧比曽岳山頂（標高１，１２０m）において、足助消防署及び直近の出張所と合同山岳救助訓練を実施しました。

寧比曽岳は当市東部に位置し、東海自然歩道が山頂付近を通っています。近年のトレッキング人気の高まりにより、東海自然歩道を歩くハイカーが年々増加し、山岳救助事案の発生が危惧されています。

このことに対応するため、平成２５年度から正確に災害発生場所を確定するため、東海自然歩道の案内板に座標プレートの設置を進めており、今回の訓練はプレートを設置した効果の検証を兼ねて実施しました。

この訓練は、ハイカー１名が山頂付近で動けなくなったとの想定で、山岳救助特定任務の指定を受けている足助消防署救助隊と出張所隊が救助支援活動を行う体制で実施しました。訓練当日は、前日の降雪により山頂付近の積雪が１５ｃｍ、気温－８℃と厳しい気象条件のなか、歩行訓練、資器材取扱訓練及び防災ヘリピックアップポイントの確認、早期の災害場所の特定と関係機関への適切な連絡を行い、有事に備えた対応を確実なものにするため、要救助者の搬送要領等の知識及び技術の向上を図りました。

【合同山岳救助訓練を実施】

【東海自然歩道案内板の座標プレート】

研　修　等

◆　緊急自動車安全運転研修を実施

児玉郡市広域消防本部（埼玉）

児玉郡市広域消防本部では、平成２２年度以降採用の職員を対象に平成２６年１１月１０日（月）、１７日（月）の２日間、緊急自動車安全運転研修を実施しました。

この研修は、団塊世代の大量退職に伴い機関員が若年化傾向にあるなかで、早期に機関員を育成し、交通事故防止の徹底と安全運転意識の高揚及び安全運転技術の習得を目的として実施したものです。

研修では、管内の自動車学校の協力のもと、運転適性検査と検定員による運転診断等を実施しました。今回で３年目になりましたが、非番の自主参加者を含め１９名の職員が参加し、検定員の指導により運転技術の再確認することができ有意義な研修になりました。運転適性検査結果を活用し、今後も安全運転に努めていきます。

【緊急自動車安全運転研修の様子】

◆　消防救助研修会の開催

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、平成２６年１２月１２日（金）、加古川市防災センターにおいて、関西電力株式会社加古川営業所から外部講師を招き、「電気に関する基礎知識について」と題して、消防救助研修会を開催しました。

この研修会は、近年、住宅等において太陽光発電設備が急速に普及していることから、電気に関する知識及び理解を深め、災害時において安全管理の徹底を図り、迅速かつ的確に対応していくことを目的に開催しました。

本研修会により、電気に関する基礎的な知識を学び、質疑応答では、消防活動時における疑問点等を解消することができました。また、管内の営業所から講師の派遣を依頼することで、顔の見える関係を構築し、災害時における協力体制の強化を図る上で有意義な研修会となりました。

【消防救助研修会の様子】

◆　ハイブリッドカー講習会を実施

西入間広域消防組合消防本部（埼玉）

西入間広域消防組合消防本部では、平成２６年１２月１６日（火）、１７日（水）の２日間、近年急増しているハイブリッドカーに対して、災害時に安全かつ円滑な現場活動が行えるよう全署員を対象にハイブリッドカー講習会を実施しました。

講習内容は、埼玉トヨタ自動車株式会社に協力をしていただき、座学で車両の構造及び基礎知識について理解を深め、消防活動上の注意事項等を把握するとともに水素と酸素を化学反応させて電気をつくる次世代燃料電池自動車についても学びました。また、車両を用いた実技講習では、エアバックの展開実験、高電圧部位及び関連システムの設置状態を確認しサービスプラグの脱着なども体験しました。

今後、他社のハイブリッド車及び電気自動車等についても定期的に講習会を実施し、多種多様な災害に備えていきます。

【ハイブリッドカー講習会の様子】

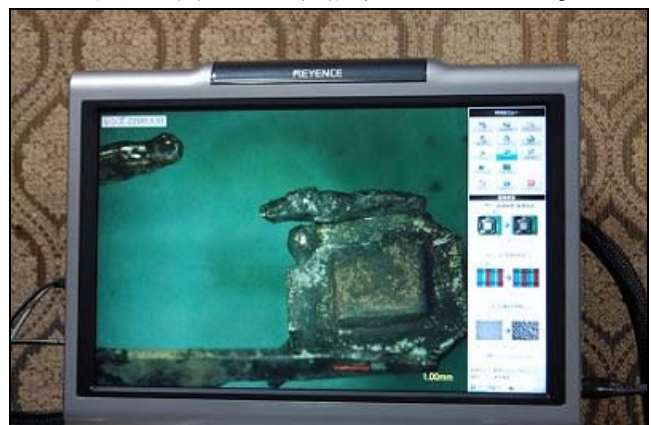
その　他

◆　消防研究センターと合同火災調査を実施

千曲坂城消防本部（長野）

千曲坂城消防本部では、平成２６年１２月１６日（火）、１１月に千曲市内で発生した電子レンジが焼損した火災の原因について、消防研究センターの火災調査技術支援を受けながら鑑識見分を実施しました。

同型品と比較しながら焼損した電子レンジを見分し、消防研究センター保有の資機材等を使用、構成部品の一部が電気的異状により出火に起因した可能性が高いという結果に至りました。

【合同鑑識の様子】

【デジタルマイクロスコープの映像】

◆　富山県内初の消防救急デジタル無線運用を開始

立山町消防本部（富山）

立山町消防本部では、平成２５年１０月から消防救急デジタル無線の整備工事を開始し、この度、工事が完了しました。運用開始を記念し、平成２６年１２月２２日（月）、当町消防本部において、関係者を招き運用開始式を執り行いました。

消防救急デジタル無線の運用開始は、富山県内初となるとともに、今回併せて更新導入した高機能消防指令システムも同時に運用を開始しました。

【消防救急デジタル無線の運用開始式の様子】

【高機能消防指令システム】

◆　指定催しの現地検査の様子を実施

宝塚市消防本部（兵庫）

宝塚市消防本部では、平成２６年１２月３１日（水）、指定催しに指定している管内の大規模神社仏閣の初詣について、境内や参道の露店に対し現地検査を実施しました。

現地では、寺院及び露店関係者等の立ち合いのもと、火気器具の取り扱い、消火器の設置及び店舗の配置等防火上必要な事項について確認及び指導を行った結果、良好な状況が確保され、初詣当日は特に災害もなく安全に催しが実施されました。

当市消防本部では今回の催しが初の指定催しでありましたが、今後とも関係者に対する綿密な指導を行い、指定催しの対象となる催しが安全・安心に開催されるよう、より一層火災予防対策に努めます。

【指定催しの現地検査の様子】

◆　人命救助功労者表彰を実施

中城北中城消防本部（沖縄）

中城北中城消防本部では、平成２７年１月６日（火）、救命活動に貢献した７名へ感謝状を贈呈しました。

この表彰は、平成２６年７月と１０月、管内の遊戯施設及び農業作業場において心肺停止となった傷病者に対し、迅速な１１９番通報と適切な心肺蘇生法等の救命処置を救急隊到着まで実施し、一命を取り留めた結果、社会復帰につながったことに対するものです。

また、この協力者のなかに救命講習受講者がおり、応急手当の普及啓発の重要性を改めて認識することになりました。

今後も途切れることのない「救命の連鎖」を目指し、応急手当の普及啓発活動に注力し、地域住民に対する更なるサービスの向上につなげていきたいと考えています。

【人命救助功労者表彰の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆　平成２７年春季全国火災予防運動の実施について（１月２９日、消防予第２９号）

消防庁長官より、各都道府県知事、各指定都市市長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

本年の春季全国火災予防運動については、平成27年３月１日から７日までの７日間にわたり、別添「平成27年春季全国火災予防運動実施要綱」（省略）に基づき、実施することといたします。

貴職におかれましては、本運動及び関連行事への住民の積極的な参加を促し、火災及び災害に強いまちづくりの継続的な推進のため、特段の御配慮をお願いいたします。

また、各都道府県知事におかれましては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対しても周知していただきますようお願いいたします。

○　全文は、消防庁ホームページ（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2701/pdf/270129_yo29.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】予防課予防係
担当：福井、増沢、大槻

◆　平成２７年春季全国火災予防運動の実施について（１月２９日、消防予第３０号）

予防課長より、各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

平成27年春季全国火災予防運動については、平成27年１月29日付け消防予第29号により実施要綱を定め、各都道府県知事等あてに消防庁長官から通知したところですが、当該実施要綱に掲げる推進項目等の実施にあたり参考になると考えられる事項を、別添１「平成27年春季全国火災予防運動実施要綱について」（省略）のとおりとりまとめましたので送付します。

なお、前回実施した平成26年秋季全国火災予防運動期間中における行事等の実施結果については、「平成26年秋季全国火災予防運動の実施結果について」（平成26年12月24日付け事務連絡）のとおりですので、これらを参考としながら各地域の実情に応じた運動の実施について検討いただくとともに、山火事予防運動及び車両火災予防運動を含め、今回の実施結果について、別添２（省略）により報告いただきますようお願いします。

各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の各市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対してもこの旨周知していただきますようお願いいたします。

○　全文は、消防庁ホームページ（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2701/pdf/270129_yo30.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】予防課予防係
担当：福井、増沢、大槻

報道発表

◆ 第１９回防災まちづくり大賞受賞団体の決定（２月２日、消防庁）

「防災まちづくり大賞」は、地方公共団体や自主防災組織等における防災に関する優れた取組、工夫・アイデア等、防災に関する幅広い視点からの効果的な取組を推奨し、もって地方公共団体等における災害に強い安心・安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

この度、「第１９回防災まちづくり大賞」について受賞団体を決定しました。受賞団体は、１９団体で表彰内訳は次のとおりです。

総務大臣賞	３団体
消防庁長官賞	６団体
日本防火・防災協会長賞	１０団体
計	１９団体

※受賞団体名等は、別添の受賞団体一覧表を御覧ください。

（表彰式について）
日時：平成２７年２月９日（月）　１６時３０分から
場所：ホテルルポール麹町（東京都千代田区平河町２－４－３）

○　全文は、消防庁ホームページ（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/02/270202_houdou_1.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】国民保護・防災部地域防災室
住民防災係　担当：伊藤、山下、橋本

情報提供

◆　住警器の維持管理・定期交換促進用ＤＶＤビデオの作成について
「１０年たったら、とりカエル」

一般社団法人日本火災報知機工業会

一般社団法人日本火災報知機工業会では、昨年１０月に住警器の交換促進用チラシを作成し、全国の各消防本部へ発送しました。今般、チラシと同様「伝えるべき人に、正しく伝える」をコンセプトに、新キャラクター（とり＋カエル）とキャッチコピーをマッチングさせた広報用のＤＶＤビデオを作成しました。

先月下旬に、全国の各消防本部に発送しましたので、チラシと合わせて普及啓発にご活用いただければ幸いです。

〈ビデオの内容〉

このビデオは、新キャラクター「とりカエル」と女性ＭＣとのかけあいを中心に物語が展開していきます。

①　導入部　もしも、家の中でこんな音がしたら（電池切れ・故障）
②　１０年を目安に交換をおすすめします。（設置してからどれくらい）
③　新しい住警器に交換したら（設置年月の記入、取扱説明書の確認など）
④　定期的に作動確認を（テストの方法など）
⑤　エンディング（スポット映像にも兼用できる、ＰＲ用１５秒）

なお、本ビデオは当工業会のホームページからもダウンロードが可能です。
http://www.kaho.or.jp/user/awm/info01_p01.html

担当窓口
一般社団法人日本火災報知機工業会
技術部　　澤　　宏
TEL　　０３（３８３１）４３１８
Fax　　０３（３８３１）４３６５

※　消防庁各課室の直通電話番号は（http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html）に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL　03-3234-1321　FAX 03-3234-1847　 E-mail ： weekly@fcaj.gr.jp